

ウッディチキン／関西例会

『例会レポート 130』

日 程	2018年2月7日(水)
会 場	『ダリア関西 梅田』 〒530-0057 大阪市北区曽根崎 2-12-7 清和梅田ビル 7階 TEL06-6948-8858
参加者数	約 87 名 (内県外 20 名)
講演会内容	PM19:00~20:30 ・ウッディ関西代表 川畑さん挨拶 ・伊藤代表 現状報告 講演「チャレンジし続ける大切さ」 ヴィダルサスーンチャンピオン 川根 順史 氏
親睦会	PM20:30~同会場



ウッディチキン事務局

文章・写真提供／向井 健介

大寒波の中、たくさんの参加者が集まったウッディ関西例会。
北は北海道から、ジュン先生こと川根順史氏をお迎えし
外の気候とは打って変わって、終始暖かい空気に包まれていました。
そしてそれは深夜まで続きました。

司会は、わかはやし美容室の若林さんがいつもの安定の進行で進めていただきました！

まず初めに、ウッディ関西代表の川畑さんから挨拶
今回ジュン先生をお招きした意向と、先生の紹介をしていただきました。

青年部報告 株式会社小牧の松尾氏から1年間の活動報告を頂きました。
なかでも、スタイリストの皆さんが新記録に挑戦した12月の報告は
とても刺激的で、会場の皆さんもその気合を頂いていました。
今年も、すごい事が起きそうです。注目です。

伊藤代表報告

- ・ハイパフォーマー座談会について。 今後は国境を越えて韓国の人たちと切磋琢磨していきたい。
- ・韓国の活動。 3年目になり、どんどん交流が加速している。
- ・フィリピンの報告
- ・北海道ツアー(in ウッディ北海道例会)。 韓国の方をお招きして、北海道のサロン見学や観光。そして講演会など

講演「チャレンジし続ける大切さ」

講師 ヴィダルサスーンチャンピオン 川根 順史氏

プロフィール

札幌じゅん先生こと川根順史 SAC = Scentic Art Creative 代表 札幌ビューティアート専門学校「川根塾」代表
SALONS PUREZA、VITA、SKNOW ロンドンヴィダルサスーンアカデミー卒業カットコンテスト17回優勝(スタッフで
75回優勝)第24代目 VIDAL SASSOON チャンピオン

全身ヨウジヤマモトに包まれた、いつものジュン先生・・・
本人も久しぶりの講演会だった。

7年前に、すい臓炎で大病して講演会の数を減らしていた。
でもその心配と裏腹に、素敵な笑顔のジュン先生だった。
会場は、何度も大爆笑の渦が巻いていました。



① 自分を生きる

現在 61 才現役

スタッフ 23 名に囲まれて、札幌市内でスノーと美容室を経営しています。

年間 100 回以上かつ講習をしていたが、7 年前にすい臓炎で講習会を減らし続けていった。

癌だと思い込んで、覚悟を決めていた時期もあったが癌ではなかった。
自分を生きるとは、自分をごまかさずに自分らしく素直に生きることだと思う。
カッコいい時もカッコ悪い時も、どんな時もありのままの自分だ！

② 外面は、内面の一番外側だった

外面よりも内面が大事だという通説が何となく納得出来てなかったときに出逢った言葉。
「外面は内面の一番外側」
聞いたときに、スーッと腑に落ちた。服装も大事。
考えている事と言ってる事とやってる事が一致することがある。それを大切にする。
心を磨いていくことが、顔の表情や服装に現れる。

③ コンプレックス

子供のころの経験。父が酒乱で母がいつも叩かれてあざだらけだった。
自分がどもり(吃音)になった原因。とても怖くて怖くてしかたなかった。
姉がいたが、中学卒業を機に家を出ていった。
友達が遊びに来たがっていたが、どうしてもそんな家に招くことができなかった。

人はそれぞれ大なり小なりコンプレックスはあると思う。
その振り子が大きければ大きいほど、自分の生きる糧となり大成するのだと思う。
今振り返ると、その子供のころの体験があったからこそヴィダルサスーンのチャンピオンになるまで諦めずに続けてこれたのだと思う。
覚悟を決める。何が何でも這い上がる。成功してやる。
そんな気持ちの始まりは、コンプレックスだと思う。

④ サロンは商売、コンテストは勝負

人見知りで、どもりで、とても美容師なんか向いていない。
でも絶対有名になってやる。コンテストで優勝してやる。
その弱みを何とかしたいという思いで練習に励んだ。
そしていつの間にか全身ヨウジヤマモトを着ることで、それを克服することができた。
きっと仮面ライダーの衣装を着て無敵になったような感覚なのだろう。

ヴィダルサスーンのロンドン研修に行ったとき、プロの美容師を目の当たりにした。
スタイリストがお客さんと口論している。
お客さんがオーダーしたスタイルと違うと、、、
スタイリストからこんな説明をしていた。
今までいろんな経験や勉強やトレーニングを重ねてきた結果
あなたのライフスタイルに合ったヘアスタイルにしているからと説明をして
お客さんが納得して、笑顔で帰っていった。

その光景を見て自分もそうなりたいと思って行動してから10年ぐらいかかった。
なかなかすぐに来るものではないと実感した。
今では、お任せのお客様しか担当していない。

コンテスト前は、4日間徹夜をした。

4日目にふらふらになり倒れそうな自分が、サロンの鏡越しに見た時
かっこいいと思う。そんな自分が大好きなのだ。

最後に、人生は一步踏み出すことが大切。
損か得かわからないが、頼まれたら受け入れる。
そんな姿勢で、これからも進んでいきたい。

以上です。

懇親会





以上です。
ウツディ事務局 向井健介